



FT-仕様-第 17001 号

2017 年 3 月 29 日

スイッチ・コンセントボックス用防火措置工法

「イチジカン[®]BOX 中空壁」

仕様書

古河電気工業株式会社

株式会社古河テクノマテリアル

1. 工法概要

イチジカン BOX 中空壁(以下、本工法)は、中空間仕切壁に設置された鋼製スイッチ・コンセントボックスの開口部に対し、耐火措置を行う工法です。

2. 耐火性能と適用範囲

本工法は、建築基準法第 68 条の 25 第 1 項の規定に基づき、同法施行令第 129 条の 2 の 5 第 1 項第七号ハ「防火区画貫通部 1 時間遮炎性能」の規定に適合するものとして、国土交通大臣認定(認定番号: PS060WL-0762 及び PS060WL-0899)を取得しています。(表 1、2)

表 1 国土交通大臣認定の適用範囲(1~3 個用ボックス)

| 項目 | | 仕様 | |
|--|-----------------|--|-----------------------|
| 国土交通大臣認定番号 | | PS060WL-0762 | |
| 壁 | 構造 | 両面強化せっこうボード重張/軽量鉄骨下地間仕切壁(準耐火構造 60 分)又は建築基準法第 2 条第七号の規定に基づく耐火構造(60 分) | |
| | 厚さ | 100 mm以上 | |
| 開口A (ボックス側) | 形状 | 矩形 (150×100 mm以下) | |
| | 面積 | 0.0150m ² 以下 | |
| 開口B (電線管・ケーブル出口側) | 形状 | 矩形(110×110 mm以下) 又は 円形(φ 110 mm以下) | |
| | 面積 | 0.0121m ² 以下 (ただし円形の場合は、0.0095m ² 以下) | |
| 占積率 (鋼製ボックスの貫通孔の面積に 対するケーブル断面積の割合) | | 50.3%以下 | |
| 鋼製ボックス | 寸法 | 182(±2)×117(±2)×44(±2)mm以下 (3 個用以下) | |
| 貫通物 | 合成樹脂製 可とう電線管 | 規格 | JIS C 8411 |
| | | 種類 | PF 管、CD 管 |
| | サイズ | 呼び径 22 以下 (外径 30.5mm 以下) | |
| | ケーブル | 導体断面積 (1 本あたり) | 22 mm ² 以下 |
| 開口 B 充てん材の充てん厚 (充てん材:ダンシール-KP) | | 25mm 以上 | |

表 2 国土交通大臣認定の適用範囲 (1~6 個用ボックス)

| 項目 | | 仕様 | |
|--|-----------------|--|-----------------------------|
| 国土交通大臣認定番号 | | PS060WL-0899 | |
| 壁 | 構造 | 建築基準法施行令第 129 条の 2 の 3 第 1 項第一号ロの規定に基づく準耐火構造(60 分)又は建築基準法第 2 条第七号の規定に基づく耐火構造(60 分) | |
| | 厚さ | 109mm 以上 | |
| 開口 A (ボックス側) | 形状 | 矩形 (290×100mm 以下) | |
| | 面積 | 0.0290m ² 以下 | |
| 開口 B (電線管・ケーブル出口側) | 形状 | 矩形(110×110mm 以下) 又は 円形(φ 110mm 以下) | |
| | 面積 | 0.0121m ² 以下 (ただし円形の場合は、0.0095m ² 以下) | |
| 占積率 (鋼製ボックスの貫通孔の面積に 対するケーブル断面積の割合) | | 44.8% 以下 | |
| 鋼製ボックス | 寸法 | 320(±2)×117(±2)×54(±2)mm 以下 (6 個用以下) | |
| 貫通物 | 合成樹脂製 可とう電線管 | 規格 | JIS C 8411 |
| | | 種類 | PF 管、CD 管、さや管 |
| | | サイズ | 呼び径 28 以下 (外径 36.5mm 以下) |
| | ケーブル | 導体断面積 (1 本あたり) | 22 mm ² 以下 |
| 開口 B 充てん材の充てん厚 (充てん材:ダンシール-KP) | | 22mm 以上 | |

3. 標準施工図

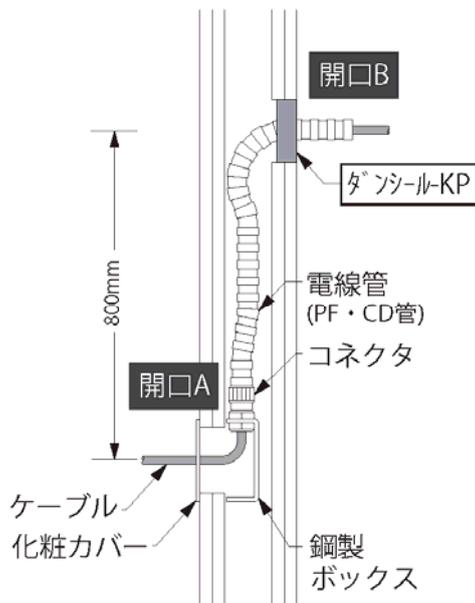
本工法の標準施工図を図 1 に示します。

建築現場での配線方法等によっては標準施工図とは異なる形態になる場合があります。その場合には、開口 A への防火措置が必要であるかなどを含め、対応方法等について所轄の行政機関にご相談ください。

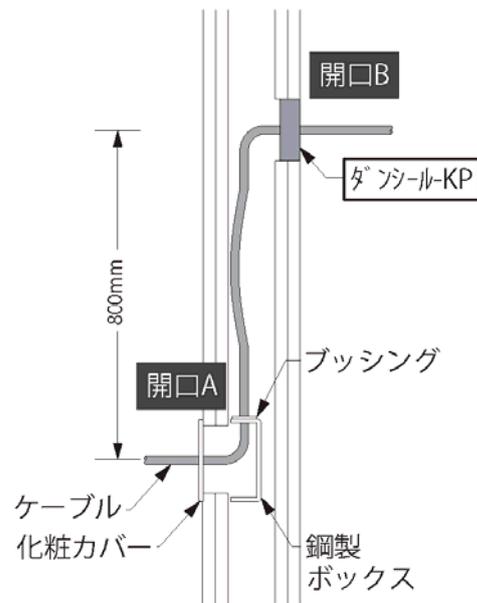
※施工箇所の仕様(ボックスサイズ、壁の材質、壁厚等)によって適用される認定番号が異なり、措置の方法も異なります。

(1) 電線管、ケーブルが上向きに配線される場合

電線管を使用する場合

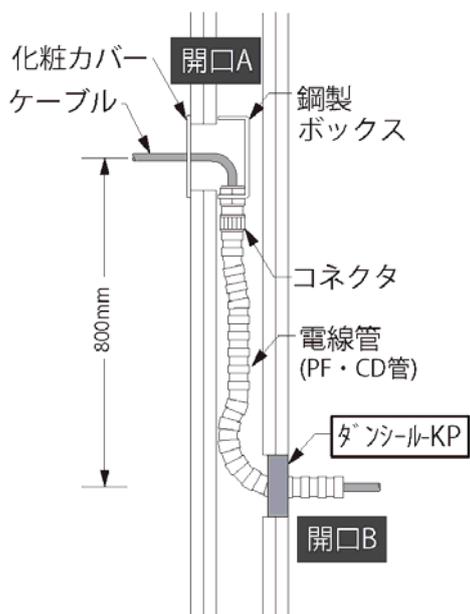


ケーブルのみを通線する場合



(2) 電線管、ケーブルが下向きに配線される場合

電線管を使用する場合



ケーブルのみを通線する場合

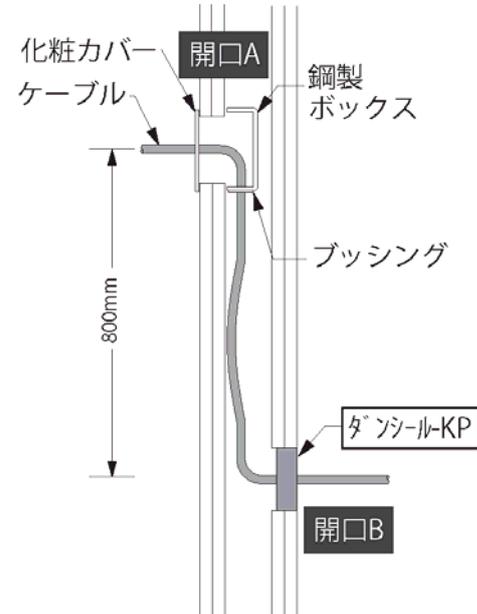
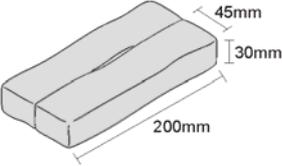


図 1 標準施工図

4.仕様及び用途

本工法に必要な充てん材の品番及び 1 箱あたりの仕様を表 3 に示します。

表 3 充てん材の仕様・用途

| 品名 | 品番 | 構成 | 販売単位 |
|---|---|------------|-----------|
| ダンシール-KP | KP-3KG | 500g袋品×6袋 | 1箱(6袋入り) |
| | KP-5KG | 500g袋品×10袋 | 1箱(10袋入り) |
| | KP-10KG | 500g袋品×20袋 | 1箱(20袋入り) |
|  <p>(※)500g袋品=45×30×200mm/個×2個入り</p> | | | |
| 用途 | 中空壁に施工する場合のみに使用する軽量耐火パテです。出口側開口部(開口B)に隙間なく充てんします。壁表面から内部方向に規定の充てん厚以上(表 1、2 参照)詰める必要があります。 | | |

5. 梱包

各材料の梱包仕様を表 4 に示します。

表 4 梱包仕様

| 項目 | | 仕様 | | |
|----------|---------|-------|---------------------|----------------|
| 品名 | 品番 | 箱材質 | 寸法(mm) (長さ×幅×高さ) | 梱包重量 (kg/箱) |
| ダンシール-KP | KP-3KG | ダンボール | 220×210×110 | 3 |
| | KP-5KG | | 220×205×180 | 5 |
| | KP-10KG | | 220×390×180 | 10 |

6. 注意事項

- ・ 本工法の耐火認定の適用は、鋼製ボックスに施工した場合のみです。樹脂製ボックスに施工を行っても国土交通大臣認定の適用にはなりません。
- ・ 本工法は国土交通大臣認定を取得していますが、実際の現場で配線形態が異なる場合には、防火措置が必要な部位であるか等を含め、対応方法等について当該建築物の確認検査機関もしくは所轄の行政機関にご確認ください。
- ・ 取扱説明書やカタログ・施工要領書などに記載された認定条件をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
- ・ 国土交通大臣認定を取得した構造と異なる壁の場合は、認定範囲外となります。
- ・ 壁にボックス開口部を設ける場合は、その開口サイズによってボックスを断熱材で被覆する等の措置が必要となる場合があります。施工前には必ず当該建築物の確認検査機関もしくは所轄の行政機関への確認ください。
- ・ 施工する耐火壁において、固有の認定条件にてボックス部の被覆等の方法が定められている場合は、その方法に従ってください。
- ・ 本工法は(一財)日本消防設備安全センターの評定工法ではありません。住居または共有部分の境壁に使用する場合は消防庁が定める施工の基準に従ってください。
- ・ 合成樹脂製可とう電線管の配管方法とサイズ、通線する電線・ケーブルの組み合わせ等、施工に関しては内線規程に従ってください。
- ・ 取付金具の尖った部分などでの怪我に注意して施工を行ってください。必要な場合は、保護具を使用してください。
- ・ 本工法には、電線管及びケーブルの支持機能はありません。電線管及びケーブルの支持、固定は別途行ってください。
- ・ 本工法は、屋内施工を前提としております。屋外またはそれに準じた環境下でご使用の場合は、弊社までお問い合わせください。

7. その他

本仕様書の内容は、工法改良などによりお断りなく変更する場合がありますので、ご了承ください。

以 上